

■ 一般目標 (GIO)

生理学をはじめとする他の基礎歯科医学，および臨床歯科学を学ぶための基礎知識を身につけるために，人体の基本構造について系統的に区分しながら学習する。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 全身を構成する骨の名称と形態を説明できる。
- ・ 筋の形状と分類を形態学的に理解し，筋の起始と停止，および収縮による運動様式を説明できる。
- ・ 心臓の位置と構造を説明できる。
- ・ 全身に分布する動脈，静脈，およびリンパ管の概要を理解する。
- ・ 消化器と付属器の種類，基本構造と働きを説明できる。
- ・ 泌尿器系を構成する臓器の構造と働きを説明できる。
- ・ 生殖器系を構成する臓器の構造と働きを説明できる。
- ・ 内分泌器官の種類と位置，および働きを説明できる。
- ・ 神経の役割と神経細胞の種類について理解する。
- ・ 中枢神経と末梢神経の種類と分類を説明できる。
- ・ 感覚器の種類と構造を説明できる。

- 教科書：1 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学（医歯薬出版）
2 必要に応じて参考資料を配布する。

- 参考書：特に指定しない。

- 授業時間：火曜日 14:00～14:50, 15:00～15:50

- オフィスアワー：大橋 晶子 火曜日 17:00～18:00 (oohashi.akiko@nihon-u.ac.jp あ)

- 授業の方法：教科書の内容を中心に，オンラインでの講義形式で進める。

- 準備学習・ 事前に基本的な内容を，教科書を読んで理解しておくこと。各々授
準備学習時間：業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

- 成績評価方法：課題およびレポート（30%）と定期試験（70%）で評価する。

- 注意事項：毎回，教科書を持参すること。授業中に話す重要事項については必ずノートに記載すること。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 4月6日 大橋 晶子	1. 解剖学総論 1) 体の部位 2) 位置と方向 (教1) pp. 1～6 2. 骨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解剖学を学ぶ意義を理解する。 ・ 体の部位，位置，および方向を示す解剖学用語について理解する。 ・ 骨の種類と基本構造を学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	1)種類と構造 2)発生と連結 (教1) pp. 46～51	<ul style="list-style-type: none"> • 膜内骨化と軟骨内骨化を理解する。 • 骨の連結様式を理解する。
第2回4月13日 大橋 晶子	2.骨 3)全身の骨 (教1) pp. 51～57	<ul style="list-style-type: none"> • 体幹を構成する骨の種類を理解する。 • 上肢帯と下肢帯を構成する骨を理解する。 • 自由上肢骨と自由下肢骨を理解する。
第3回4月20日 大橋 晶子	2.骨 4)骨の観察 (教1) pp. 51～57	<ul style="list-style-type: none"> • 全身の骨を観察しながら、個々の骨の名称を覚え、それらの形態を理解する。 •
第4回4月27日 大橋 晶子	3.筋 1)形状と分類 2)起始と停止 (教1) pp. 58～59	<ul style="list-style-type: none"> • 筋の形状と分類を形態学的に理解する。 • 筋の起始と停止の意味を理解する。 • 筋の収縮と体の運動様式を理解する。
第5回5月11日 大橋 晶子	3.筋 3)全身の筋 (教1) pp. 64～74	<ul style="list-style-type: none"> • 全身の筋の概要を理解する。
第6回5月18日 大橋 晶子	4.脈管 1)種類と役割 2)体循環と肺循環 3)心臓 (教1) pp. 109～113 pp. 123～127	<ul style="list-style-type: none"> • 脈管には動脈, 静脈, リンパ管があることを理解する。 • 体循環と肺循環の違いを理解する。 • 心臓の位置と形態および構造を理解する。
第7回5月25日 大橋 晶子	4.脈管 4)動脈系 (教1) pp. 128～133	<ul style="list-style-type: none"> • 全身に分布する動脈の概要を理解する。 •
第8回6月1日 大橋 晶子	4.脈管 5)静脈系 6)胎生期の循環 7)リンパ管 (教1) pp. 134～143	<ul style="list-style-type: none"> • 全身に分布する静脈の概要を理解する。 • 胎児の脈管の概要を理解する。 • リンパ管の種類およびリンパ性器官について理解する。
第9回6月8日 大橋 晶子	5.内臓 1)消化器 (教1) pp. 85～98	<ul style="list-style-type: none"> • 口腔から始まる消化管の基本構造を理解する。 • 消化管の付属器の種類と働きを理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第10回6月15日 大橋 晶子	5.内臓 2)呼吸器 (教1) pp.172~181	<ul style="list-style-type: none"> • 鼻腔から肺に至る呼吸器の基本構造を理解する。 •
第11回6月22日 大橋 晶子	5.内臓 3)泌尿・生殖器 4)内分泌器 (教1) pp.210~211 pp.227~237	<ul style="list-style-type: none"> • 泌尿器の構成を理解する。 • 男性と女性の生殖器の基本構造を理解する。 • 内分泌器官の種類と位置を理解する。
第12回6月29日 大橋 晶子	6.神経 1)神経とは 2)脳脊髄液 3)脳の血管 (教1) pp.144~146 pp.155~158	<ul style="list-style-type: none"> • 神経の役割を理解する。 • 神経細胞の種類について理解する。 • 髄膜と脳脊髄液の流れを理解する。 • 脳を栄養する血管を理解する。
第13回7月6日 大橋 晶子	6.神経 4)中枢神経 (教1) pp.149~155	<ul style="list-style-type: none"> • 大脳, 間脳, 中脳, 橋, 延髄, 小脳, 脊髄の位置と大まかな構造を理解する。
第14回7月13日 大橋 晶子	6.神経 5)末梢神経 (教1) pp.159~170	<ul style="list-style-type: none"> • 脳神経と脊髄神経の種類を理解する。 • 自律神経系は交感神経と副交感神経に分類されることを理解する。
第15回7月20日 大橋 晶子	7.感覚器 1)外皮 2)視覚器 3)平衡聴覚器 (教1) pp.193~205	<ul style="list-style-type: none"> • 皮膚の感覚受容器の種類と分布を理解する。 • 眼球と副眼器の基本構造を理解する。 • 平衡聴覚器の構成を理解する。